

< 沖縄だからこそメジャーに勝てる >

これまで沖縄は僻地、離島という条件の下で産業振興、ビジネス活動にとって不利だといわれていました。しかし今、沖縄に、いやだからこそ本土メジャー産業・企業に勝てる可能性、チャンスが訪れています。それはIT技術の普及、ニッチ市場（というよりも市場の細分化）の確立、グローバルイゼーションの現実化です。

その象徴的な事例が、これまでは県内高額所得法人上位ランキングの常連は電力会社、銀行、建設・土木、量販店でしたが、(株)ハイウェーブが03年度のランキングで8位を占めたことです。同社はモンパチなどの県内若手ミュージシャン、いわゆるインディーズ（語源：インディペンデント）を輩出しているCD制作会社です。

これはオキナワン・ミュージックという地域差別化（戦略）の成功とインターネットの普及で本土（東京）へ行かなくとも、沖縄で情報発信が充分できるようになったからです。同様なものとして健康食品、自然塩、黒酢、ロケーション・ビジネスなどが既にあり、さらに多くの可能性があります。

この沖縄の可能性を実現するためには沖縄地域差別化戦略に基づいた「ビジネス・モデル」の構想と、さらにこれを踏まえた具体的な「事業計画」が必要です。講義では本学の専任教員が中心となり、これらに関連する企業経営理論を中心に展開します。

事例研究では、沖縄で今、第一線で活躍している下記の研究者、経営者、コンサルタントを特別講師（非常勤）に招き、企業現場からのスポットを当て、沖縄の産業振興、企業の可能性と課題を明らかにします。

< 地域産業コース担当の特別講師 >

敬称略

嘉数啓〔琉球大学副学長〕、高安正勝〔ベンチャー高安(有)代表取締役〕

東良和〔沖縄ツーリスト(株)代表取締役社長〕、野田宣成〔(株)船井総合研究所・チーフコンサルタント〕